

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月06日

計画の名称	氷見市沿岸部における防災対策の推進（防災・安全）（第2期）											
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	氷見市											
計画の目標	<p>朝日山公園は、氷見市地域防災計画において市街地全域の氷見市避難場所に指定されており、津波災害時に浸水が想定される市街地に隣接した高台の避難場所として位置づけられているが、未整備区域が多く市街地からの避難人員の収容や救援物資の集積・輸送拠点として活動するためには広い空間確保が必要とされている。公園の広場整備を行うことにより、沿岸部における総合的な防災対策の推進を図るとともに、安全で身近に利用できる都市空間を提供する。</p> <p>公園施設の長寿命化計画に基づき、安全対策の強化及び改築・更新費用の縮減を図り、公園施設の長寿命化と計画的な改築・更新を実施するとともに、沿岸部における総合的な防災対策の推進を図り、安全で身近に利用できる都市空間を提供する。</p> <p>大地震時における滑動崩落や液状化による宅地の被害を軽減するため、沿岸部を含めた大規模盛土造成地の調査を行い、住民への情報提供等を図る。</p>											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	486	A	486	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	氷見市内における災害時指定緊急避難場所の収容人数を304千人から321千人に増やす。 災害時指定緊急避難場所の収容人員	304千人	312千人	321千人
2	公園施設長寿命化計画に基づき、改築・更新した公園施設の割合を0%から60%に増やす。 公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新した公園施設の割合 = (改築・更新済みの公園施設) / (改築・更新対象公園施設)	0%	0%	60%
3	氷見市内における大規模盛土造成地の位置や規模を示したマップの公表と優先度評価実施の割合を0%から100%に増やす。 氷見市における大規模盛土造成地の位置や規模を示したマップの公表の割合と優先度評価 = (大規模盛土造成地の位置や規模を示したマップの公表と優先度評価実施) / (市全域230.56km <sup>2</sup> )	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	氷見市	直接	氷見市	-	-	都市公園事業(朝日山公園)	休憩施設及び広場整備等5.3ha	氷見市						221	-	
	A12-002	公園	一般	氷見市	直接	氷見市	-	-	氷見市都市公園安全・安心対策事業(氷見運動公園)	長寿命化対策(公園施設等の改築、更新)	氷見市						236	策定済	
	A12-003	公園	一般	氷見市	直接	氷見市	-	-	氷見市都市公園安全・安心対策事業(天狗林健康広場)	公園施設長寿命化計画策定調査	氷見市						3	-	
	A12-004	公園	一般	氷見市	直接	氷見市	-	-	氷見市公園安全・安心対策事業(朝日山公園)(5か年老朽)	健全度D判定等の緊急な対応が必要な公園施設の改修	氷見市						20	策定済	
											小計						480		
	市街地整備事業	A13-005	宅地耐震	一般	氷見市	直接	氷見市	-	-	大規模盛土造成地の変動予測調査	宅地耐震化調査	氷見市						6	未策定



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

氷見市建設部都市計画課

事後評価の実施時期

令和5年2月

公表の方法

氷見市ホームページ

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

・朝日山公園の未整備区域であったエリアを「見晴らしの丘」として供用開始したことにより、身近に利用できる都市空間を提供することができた。また、災害時には市街地からの避難人員の収容や救援物資の集積・輸送拠点として利用できるため防災機能の向上を図ることが可能となった。  
・見直しを行った公園施設長寿命化計画に基づいて老朽化した公園施設の更新を行い、より安全で身近に利用できる都市空間を提供できた。  
・市内全域において、大規模盛土造成地の概ねの位置と規模を把握する調査を行い、「大規模盛土造成地マップ」を作成し、住民等へ周知・公表を行った。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

整備された公園を日常的に利用できるよう周知し、より身近に感じられるよう努めていく。また、今後も公園施設長寿命化計画に基づき公園施設の改築・更新を進め、公園利用者の利便性や防災機能の向上に努めていく。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	321千人	
	最終目標値	321千人
	最終実績値	321千人
2	60%	
	最終目標値	60%
	最終実績値	60%
3	100%	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%